



# Volkswagen Corrado VR6

いま人気上昇中のVW製スポーツカー

「カッコいいし、VWらしくコストパフォーマンスの高いクルマだよね」と、クルマ好きからの評価は高いものの、日本にはまったく根付かなかったコラード。その存在すら知らない方も少なくないだろう。ところが、生産終了から10年以上が経ったいま、なぜか30代を中心にコラード人気が高まっている。生まれた時が早すぎたのか……







フロントに横置きされる2.9ℓV6 SOHCエンジンは、190ps/5800rpm、25.0mkg/4200rpmのパワーとトルクを叩き出す。全長4050×全幅1685×全高1340mm。205/50R15を履く。70km/hを超えると自動的にリア・ウイングがせり上がる。車両協力=ハイタイムコーポレーション Tel.042-795-7861 (コラード VR6/93年式・走行4.9万km・価格147万円)

VWといえば、質実剛健を信条とするゴルフやポロ、パサートなどがイメージリーダーとなっている。でも、エレガントなクーペを造らせても実に上手い。久しぶりにコラードを眺めていて、そんなことを思った。

まずは、自慢のボディをご覧いただきたい。これは約20年前にデザインされたクルマなのだ。



直線と曲線が絶妙なバランスで織りなすボリューム感のあるボディ、傾斜の強いAピラー、天地に薄いガラスエリア、緩やかに弧を描きながらリアに向けて切れ上がっていくウエストライン……。そう、どれをとっても21世紀の“いま”なのだ。ボディデザインにまったく古くささを感じさせない。これって、時代を先取りしていた、

なんて簡単な言葉では片づけられないくらいすごいことだと思う。きっと、VWとカルマン社にはドラエモンが在籍しているに違いない。

コラードの歴史は、88年にデビューしたG60からスタートした。生産を受け持ったのはカルマン社である。搭載されたのは、初期型ゴルフⅡGTIの1.8ℓ直4 8Vにスーパーチャージャーを装着したユニッ

ト。92年にゴルフⅢの2.8ℓ狭角V6を2.9ℓに拡大したエンジンを積むVR6を追加、93年にはゴルフⅡGTI 16Vを搭載する2000 16Vが登場している。つまり中古車市場にはパワーユニットの異なる3つのモデルが存在するわけだ。

### 大人のGTカー

試乗車は東京・町田市の“ハイタイムコーポレーション”から拝借した93年式のVR6。走行距離が4.9万kmで147万円のプライスタグが付けられていた。VR6では、G60にはなかった4段ATが用意されていて、中古車の流通量も圧倒的に多いのだが、このクルマは珍しい5段MTだ。インテリアは、過度な演出がまったくないビジネスライクなもの。どこを見ても黒とグレー、最近流行の光りモノは一切ない。そういえば90年代前半までのドイツ車はこんな雰囲気

の内装が主流だった。

ストロークの長いシフトレバーをヨイショと1速に送り込み東名高速に繰り出す。VR6が得意とするのは、ワインディングロードより高速道路だろう。右足の踏力を100km/hにセットすると、3ℓ級のパワーユニットらしい独特のビートを刻みながら肅々と滑走する。ギアを1段落としてフル加速を試みたところで、あくまでフラットにトルクが供給されるだけで劇的なことは何も起こらない。やる気を出して3速まで落としてトップエンド付近まで回しても、あくまで大人なマナー。刺激、というか一瞬の快楽よりも安定感を優先させているのがVWらしい。

ただし、2ℓ直4を基本に造られたボディに2.9ℓV6ユニットを押し込んでいるわけだから、どんな場面でも痛痒感はなく、交通の流れをリードするなど容易いこと。特に、3000rpmからさらに

スムーズさを増すエンジンの回転フィールはコラードがスポーツカーを主張する瞬間だ。ボディやサスペンションの剛性感、エンジンのパワー……。とにかくすべてに余裕が感じられ、それが気持ちよさにつながっていく。言うまでもないが、走行感覚にも古くさは微塵もない。やはりこの頃のVWは時代の先端どころか、10年先を走っていたのだ。個人的な話で恐縮だが、久しぶりにほしいと思ったクルマに出会った気がする。

### 30代の女性にモテる!

さて、試乗車を提供してくれた同店の担当者も、コラードを見に来る30代前半の方が増えていくと話す。で、奥さんや彼女といっしょに来店した場合、ショップの人は「決まった」という確信を得るそうだ。理由は簡単、コラードのルックスは女性のハートに刺さるのである。90%以

上の確率で、「いいじゃん。このクルマ、カッコいいよ」と、購入にOKを出すらしい。これが時代を超えたデザインの力なのだろう。

相場を紹介しておこう。G60と16Vは100万円前後、VR6は100～180万円が目安になる。MTはATより50万円前後は高くなると思ってい

い。コラードの流通量は非常に少なく、VWを専門に扱う同店でも、年間2～3台が入ってくるだけだという。見つけやすいのは、G60とVR6のATで、VR6のMTはなかなか出てこない。それにしても、コラードのルックスが女性のハートに刺さるという話はおもしろい。とりあえず、うらやましい(相手はクルマだけ)。そうか、コラードの佇まいにはモテるためのヒントが隠されているに違いない。すると、主張しすぎない上品なリッチ感がポイントか?、あっ!まさに“いま”だ。

Text: 野田義彦/Photo: 丸山博人